

にちにち通信

煌びやかな世界 雛人形を巡るたけはら



特別特集「雛めぐり2024」

2

竹原市の町並み保存地区にて、2月10日から3月20日まで（旧笠井邸では4月中旬まで）、第18回たけはら町並み雛めぐりが行われています。たけはら町並み雛めぐりの第一人者であるネットワーク竹原の佐渡泰氏に話を聞いてきました。

「雛めぐりを始めたきっかけは、2004年からはじめた空き家の再生・保存活動から」

旧笠井邸は2004年からボランティアによる修復作業が行われました。2006年2月に修復した旧笠井邸で、大正時代から平成時代の雛人形を7セット展示したところが雛めぐりの始まりでした。翌年から、「たけはら町並みめぐり」ひな人形展」として竹原市と共に町並み保存地区全体での開催となりました。この頃、佐渡氏は町並み保存地区にあるお店へ、雛人形をお店に展示しようという声掛けを積極的に行ってきました。佐渡氏は、たけはら町並み保存地区で四季折々のイベントを行うことで、たけはら町並み保存地区を訪れた方にゆっくり過ごしてもらえるのではないかと考え、雛めぐりははじめとした様々な活動を始めました。



たけはら町並み保存地区

でゆっくり過ごしてもらえるように

「今はいろんな空き家再生や空き家バンクみたいなことをいっぱいやっているけれども、その当時はまだまだ走りだったのよ。だからメディアの方（空き家を）再生して雛めぐりを始めました、みたいな形で取材してくれて、それで人気のイベントになりました」

最初は、雛人形は近所の方からの借り物でした。甘酒を出したりと今とは違った形の雛めぐりだったそうです。今では、雛人形の寄贈が増え、ネットワーク竹原で200セット以上管理しているそうです。

「毎年、寄贈頂くこともあるんですけども、基本的に管理が大変な7段飾りはもうお断りしています。この町にはやっぱり古いものが合うから、新しい雛人形の寄贈はお断りするところがあります。昭和戦前より古いものは譲り受けているんです」

他にも毎年10月に開催される「憧憬の路」の立ち上げにも関わっている佐渡氏の町づくりの思いについて聞いてみました。



町づくりへの思い

「この雛めぐりは、3月3日のひな祭り当日だけでなく、1ヶ月半やるんですよね。一日だけの開催だと、あるお店に行列ができて、そのお店に入れる人数が限られているから、それ以上の収益は上がらない。だけど、この雛めぐりは長期開催するので、コンスタントにお客さんが来て、その分利益を得ることができません。そういう理由で長期開催しているのです。雛めぐりを始めた後に、ポツポツポツとお店ができた。だから、町並み保存地区に人が来るのならお店をやってみようかなという人が増えました。今では竹原に移住してきた人が営業するお店も多いですが、もともとは町並み保存地区内の建築物の所有者がちよっとお店してみようかな、という感じで始めたのです。それがだんだんと町全体に広がってお店が増え、さらに季節ごとのイベントとともに、町全体に人が来るようになったのです。このように、町並み保存地区にたくさんの方に長期的に来てもらえるように、滞在期間を延ばすような工夫をしました」



佐渡泰さん

NPO法人ネットワーク竹原代表。
町と空き家の再生活動に取り組んでいる。

旧笠井邸



源氏物語の貝合わせ

昭和時代に作成された陶器による貝合わせです。現在、「源氏物語」作者紫式部を題材にしたNHK大河ドラマが放送中なので、興味がある方も多いのでは。源氏物語の1シーンを切り取られて作成されています。貝合わせは、ひな祭りの際に頂くハマグリを貝を使うことから嫁入り道具とされていました。

次郎左衛門雛

江戸時代後期に作成された次郎左衛門雛です。次郎左衛門雛は、江戸時代中期に人形師の雛屋次郎左衛門によってはじめられました。その名前は創始者の雛屋次郎左衛門に由来しています。この雛人形は、団子のような丸顔と引目鉤鼻が特徴で、源氏物語絵巻に描かれるような面貌を持っています。また、流行に左右されず、公家や大名家に好まれ、雛人形の本流とされています。



芥子雛（けしびな）

芥子雛は、芥子粒のように小さい雛人形を指します。（平均高さ10cm程）江戸幕府が度重なる奢侈禁止令（しゃしきんしれい）を発する中で大型の雛人形の制作が禁止されたことに反発しました。江戸時代中頃にミニサイズの雛人形が流行するようになりました。旧笠井邸にあるのは、天保8年（1837年）のもの。



雛段

1階にも雛段はありますが、2階には5台の雛段があります。五人囃子は、雅楽の楽器を持っているものと、能楽の楽器を持っているものがあるので、そちらの違いを見つけるのも楽しいです。また、三人官女の内の1人は既婚者であったり、京都は天皇の伝統を重んじているため、一般的な配置とは逆となる向かって右がお内裏様であったりと、知識として知っておくのも楽しいですよ。



こちらに紹介できなかった雛人形は他にも沢山あります。旧笠井邸へぜひ足をお運びください。

旧笠井邸では、1階と2階にて、2月10日から4月中旬まで雛人形を楽しむことができます。

次号は、4月27日発行です

写真内二次元バーコードは展示場所になります

発行元：Umi舎
発行日：2024年3月1日

問い合わせ先：



 [nichi.nichi.2sin](https://www.instagram.com/nichi.nichi.2sin)

推しの雛人形を飾るのたね



たけはら町並み保存地区内の各店舗も雛人形を飾っているので、興味のある方は、色んなお店へ足を運んでみてください（2月10日から3月20日）